私の師匠の言葉□□□□□□

人生の勝者になる為に

１．健康が最大の武器（バイオリズムを）大切に

２．愛を持てない人間はダメだ（優しさ）

3. お金を儲ける、きれいに儲けてきれいに使う

４．腰だけは低くする、なおかつ威張らない

５．時間を守る（人間と動物の違い）

私の意見

遅れることは負からのスタートと考えています。

変化の動乱期が最大のチヤンスである□□□□

２００４年の最大の特徴は・・・

地震や台風等の天変地異が異常なほど起きた事と、

戦後で、その分野を牛耳つていた独裁者と言われる人達の失脚であろう。

西武や巨人のオーナーを始め野球界のドンと呼ばれる人達や

そして戦後の小売業のリダーシップを取っていたダイエーの崩壊で有る。

私は今の時代は・・・

１．織田信長の時代の種子島に鉄砲が入った時期
２．徳川政権が崩壊した「明治維新」
３．日本の軍国主義の崩壊の敗戦
４．インターネットによる価値観の変化の現在
と非常ににていると常日頃から話している。

こういう時代は□名も無き若者の台頭が起きる!
そして非常に国家が混乱する。
今も日本国が始まって以来の借金財政に成ってしまっている。
おそらくハイパーインフレにしないと借金の返済は無理であろう!
いや利払いすらで有る!！

・・・でも考え方である・・・

長年築き上げて来た秩序は壊れるときにチヤンスが必ず潜んでいる

私たちは今それに挑戦をしようとしているのだ。

経営計画書トップページより

2013年を境にして日本という湖に海流が流れ込み、
澱んだ日本の温度が変化し始めた。

又、世界は2015年過ぎより、
ドイツのマネーサプライの縮小により、ヨーロッパに異変が生じ、
小さな国の独立等が追い打ちをかけ、
それは経済不安を起こし、
イタリア、スペインなどが巻き込まれ、
その影響はロシアへ、
又、中国が駄目になり、韓国が立ち行かなくなる。

アメリカのオバマは手詰まり状態、
運の悪さが経済の良さを邪魔する。

日本も2018年頃から兆候が出始め、
早ければオリンピック前後3年間にアベノミクスが崩壊するだろう。

今期は初心に戻り、守(修)で進みたいと思う。
この経営計画書の必達を目指し、
強手と言われる『偉大なる中小企業』になる為に。

この経営計画書は、たった一つの経営道なのだ。

今年がチヤンス、またとない機会だ！□□□□□□□□

バランス→トップに取っては大切

自然の法則（バランス感覚）

バランスが無いと崩れる。

世の中は

「平時」

「乱世」

＊平時においては乱を想い！

＊乱においては平常心で対処しろ！

本当のリーダーは乱世の時に力を発揮する。

乱世に平常心を持てる人は勝ち残る！

だから今がチヤンス！

我々にとっては、またとない時代なのだ。

２００４年は終戦の１年前である（甲申・きのえ、さる）。□

「２００４年平成（１６年）は政府や官僚の一方的な社会主義方式の
崩壊の前兆が現れ国債等の暴落に続くと思われる。
昭和１９年の日本国政府は各地で米英に負けているのに、
大本営発表により勝利と伝え国民を欺いていた。
そしてそれが東京大空襲により暴露し始め
翌年に敗戦を迎えたのだ有る（それとよく似ている）

昭和１９年（６０年前）は戦争による敗戦
平成１６年（２００４年）は金融面での敗北

見えてくるもの

１．官僚や族議員のやり放題（力が増す）

２．途方債の暴落（地方の切り捨てが始まる）

３．日銀による（紙幣の増刷）→財務省の引き受け

※初期インフレ（わかりづらいが）の始まり

昨年は癸未（みずのとひつじ）□□□□□□□□□□□□□□

２００３年は・・・

「土の上に水が置かれた状態、下にある土が下克上のごとく、

上にある水を剋しその結果、世の中が泥水のように

どろどろした状態になると書きましたが

１．中曽根、宮沢両元首相が後輩の小泉さんに切り取られた

２．道路公団の問題も首相が諮問委員会を作り検討したが結局族議員や
官僚に良いように、やられてしまった。そして委員は辞任を、
ただ「諮問しただけ」ではあまりにもむなしくはないか?
同じ様なことは栃木県でも起きたが。。。

３．イラク問題はベトナム化し、「アメリカや日本が主張する
「テロとの戦いではなく」宗教を絡めてた人民の反米
反占領国の戦いになるであろう。

ここに自衛隊の派遣が。。。それで良いんだろうか?

ただアメリカが、今引き上げたらイラクはテロの発生基地になるが
早くイラク人による政府を作るべきである!
（ただし世界第２位の）油田の利権を米国が離さないだろうが

又日本では
今の日本は官僚制社会主義国だと思う。
厚生年金、社会保険は上げ放題、全く国民の意見すら聞かず
借金（国際や地方債）は無制限にしている。
誰がどうやって返すのだ!
第三セクターや簡保の宿などは売却やは倒産をしたが
誰れかが責任をとったと言う話は一度も聞いたことがない!

□□□

□□□

□□□

オーストラリア参戦の意味。

この点で、今回対イラク輸出第２位のオーストラリアが

英米連合軍に回ったことは印象深い。

その背景には、オーストラリアが英連邦の一員であることも

大きな要因なのだが、それよりも昨年１０月バリ島で

イスラム過激派が起したディスコの爆弾テロで

多数のオーストラリア市民がテロの犠牲者と

なったことが大きな要因であるように思える。

イスラム過激派の活動に対して毅然たる態度を

取るという意思表示であるかと考える。